

きたすま

あなたがたの解放の時は近い。
(ルカ21・28)

No.221(12月号)

2021年11月28日発行
発行 カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1
発行人 高橋 聡
編集 広報委員会

「わたしたちは空を飛べるのです」

カトリック垂水教会担当司祭 林 和則 神父

先日、愛徳姉妹会のシスターからすてきなエピソードを聞かせてもらえたので、皆さんにもご紹介したいと思います。

もう20年ほど前、そのシスターがマニラに行った時、ある日曜日にマニラの教会のミサに与っていると、司式していたフィリピン人の司祭が説教中に「踊り」だしたそうです。

司祭は説教しながら、何か感極まったのか、もしくは靈感のようなものに打たれたのか、会衆に向かってひときわ声を大きくして呼びかけたそうです。

「皆さん、私たちは地面を駆けずり回っている「にわとり」ではありません。私たちには「翼」があるのです。「天」を飛べるのです！ああ、何てすばらしいことでしょうか！」

そして祭壇の周りを大きな鳥が飛んでいるかのように手を広げ、満面の笑顔で踊り回られたそうです。

この司祭はその後、パプアニューギニアにミッションに行かれて、その地で司教に叙階されたそうです。

私はこの司教様にとても共感できます。私たちは「信仰」という翼を神さまから頂いているのです。ですからこの地上にありながらも「天：父と子と聖霊の愛の交わり」の中を飛ぶことができるのです。その果てしなく澄み切った「天」を神さまの愛に包まれて、自由に飛び回ることができるのです。

もし私がキリストに出会っていなかったなら、信仰を頂いていなかったなら、わたしはただ地上的な価値観にとらわれて、人間関係の愛憎にしばられ、また金や名誉、地位を求めて、あくせくと地上をはいすり回るような人生を送っていただろうな～と、ぞっとします。目に見える世界だけではなく、目に見えない世界がある、この世界がすべてではない、神の愛に貫かれた、本当にすばらしい世界がある。これに気づかされ、招いて頂いた私は何て幸せ者なんだろうと、私もミサを捧げていて、光に包まれるような喜びを感じる時があります。

シスターのエピソードに登場した司教はサントス司教様といいます。パプアニューギニアは多くの山に囲まれ何百もの部族が暮らす貧しい国です。その地でサントス司教様は今も貧しい人びとと共に生きておられます。

京城(ソウル) から引き揚げて来た私たち家族の内の六人は、父の縁故の地、久留米市の駅に車を降り立って、目の前の光景を見て呆然とした。市内は空爆で一面の焼け野原。その後訪ねた母方の縁故の地、熊本市もまた一面の焼け野原。結局久留米市に戻って、郊外の遠い親戚の家に、私たち家族六人は固まるようにして何日かを過ごさせて頂いた。引揚の時他所の地にいた父も間もなく合流、長兄、次兄の二人も数か月後にはそれぞれ無事復員して来た。

中学二年生の私と小学六年生の妹は、ある日、田舎の農家に使いに行った。帰りの田舎道では空のリヤカーを一台、二人で後ろ手に引いていた。あたりは広い筑後平野。黄昏時の、人家も稀な田舎の道をお喋りしながら歩いていた。秋も近く、日の暮れるのが早い。気が付くと、辺りは既に暗くなって来ていて、ふと見上げると紫紺の空に、無数の小粒の宝石を撒き散らしたような、満天の星であった。私も妹も思わず立ち止まって、しばらく呆然と空を見上げていた。星明りという言葉があるが、実際にあたり一面が、私たち二人の周りが昼間のように明るかった。足元には牛車の通る轍の跡、道のくぼみ、小石などが、はっきりと見て取れる。振り向いて後ろの空を見たが、あるかなと思った月は出ていない。360度、まわりの空は、一面の、無数の星であった。私たちは懐中電灯も持っていなかった。その必要はないくらい辺りは明るかった。

左手遠くには長く伸びた森がこちらの田舎道と平行に続き、行く手の道の先には黒々と杉の森、右手もどこまでも続く野や畑らしいのが広がる先には、これも杉の森か、黙って黒々と立っている。辺りは、静まり返っていた。

私はこの満天の星を、茫然と見上げていたあの時の感動を、もう何十年もたつのに、忘れることができない。最近、コロナの影響の下で閉じこもっていることの多いこの頃、聖書を読んでいて、次の言葉に出会ったときは、大きなショック、感動を受けた。何度も読んだことのある箇所だったのに。

天は神の栄光を物語り	話すことも、語ることもなく
大空は御手の業を示す	声は聞こえなくても
昼は昼に語り伝え	その響きは全地に
夜は夜に知識を送る	その言葉は世界の果てに向かう (詩編 19)

その後私は熊本に四十年、東京に六年、神戸には大震災の年から現在までを過ごして来たが満天の星はおろか、星の小群さえ、一個の星さえ、見た記憶がない。調べてみると、満天の星は、現在の日本では人里からよほど遠く離れた地に行かねば見られないようだ。例えば信州かどこかの里遠く離れた山奥とか、大平原、大洋のど真ん中といったような所か、あるいは日本中が停電したり、広範囲の都市群が一斉に停電する、そのうえ好天気であること、これなら満天の星が見られる、と。

戦時中は灯火管制が厳しかった。地上でマッチを擦る、たばこを吸ったりするだけでも上空の飛行機からはすぐ発見されるそうだ。都市から、都市群から夜の空に放たれる光は、そこから遠く離れた地からもよく見えるが、その分、星は見えない。あの時の焼け野原だった久留米市や、日本中の被災した都市や都市群は、皆、電気のもとを絶たれて、真っ暗闇であったに違いない。だからこそ、暗い夜空に満天の星を見ることができたのだろう。

「昼のお星は目に見えぬ。見えぬけれどもあるんだよ。見えないものでもあるんだよ」金子みすゞ（1903～30）。この星をどう、何と捉えるかは人それぞれだろう。私は「神の愛」、「神の私への愛」と捉える。世の光（この世の光）が薄れて行くほど、満天の星が見えて来る。

あの時の、妹と二人で見た満天の星は、神様から特別に頂いた忘れることのできない、忘れてはならない貴重な思い出として、心に残っている。



高齢者支援委員会の遠足

11月24日、高齢者支援委員会主催の、秋の遠足が開催されました。

寒い日になりましたが、お天気に恵まれ、皆さん童心に帰って楽しい一日を過ごしました。

今年は、教会近隣の松尾公園まで歩いて、紅葉や山茶花の前で写真を撮りました。

公園ではブランコや滑り台をする人もいて、年齢を感じさせない元気さにびっくり！！

お弁当は、神父様の許可を頂き、教会で食べました。栗や銀杏やキノコの入った秋の味覚たっぷりの美味しいお弁当でした。



食後はお茶を飲みながらゲームと歌を楽しみました。

簡単なビンゴゲーム、ピンポンパンゲーム、後出しじゃんけんなど笑いの絶えない遊びをして、盛り上がりました。

Ｙさんのキーボード伴奏で、讚美歌、懐かしの青春歌、ポピュラー音楽を歌い、最後に「今日の日よさようなら」で、今年の秋の遠足は終わりました。

体調不良などで欠席の方もあり、10人だけの参加になりましたが、楽しい時間を持てたことに感謝です。

来年はもっとたくさんの方と一緒に楽しみたいです。

評議会より

☆クリスマスミサ☆

クリスマスミサは、24日(金)18:30、25日(土)10:00の2回、行われます。アンケート結果に基づき、各自、どちらのミサに与っていただくか、レターケースにカードを入れておられます。ミサ当日には、そのカードをご持参ください。

現在、25日は既に満員の状況です。カードをお持ちでない方は、24日に与って頂くようお願いいたします。



監査報告

今年度は新型コロナウイルス感染予防対策により、大阪大司教区から、小教区の間接決算監査の方式を相互監査から自教会監査に変更する旨、通知があり、10月24日(日)ミサ後、2021年度中間決算の監査が行われました。監査の結果、その内容は適正妥当であると認められ、正確に良くできているとの講評を受けました。

【監査人】

監事 NS
監事 YS

【立会者】

司牧担当者 高橋 神父
信徒代表 TI
財務委員長 YR

『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所』について

典礼委員会

長年検討が進められているローマ・ミサ典礼書ラテン語規範版第3版に基づく日本語版改訂作業の一部として題記の変更が本年5月、典礼秘跡省の認証を受け、来年2022年11月27日(待降節第1主日)から実施されることが決まりました。

変更箇所は解説と共にすでにカトリック中央協議会から冊子として出版されており(286円)北須磨教会にも備付けておりますが、内容は多岐にわたりますので、信徒の皆さまに関わりの深いところを抜粋して、これからシリーズでお知らせしてまいります。

ミサ応答の式文については、そのうち更に小さなパンフレットとして発行されると思いますので、全員がこの解説書をお持ちになる必要はないと思います。それではこれから1年をかけて準備してまいります。



お知らせ

来春、堅信式が行われます

去年、西ブロック合同堅信式がコロナ禍によって延期されました。感染状況は収束せず、西ブロック合同の開催は難しいので、この度、北須磨教会だけの堅信式を行うことになりました。

日程は、2022年2月13日(日)、酒井司教様の司式を予定しております。つきましては、ご家族やお知り合いに未堅信の方がおられましたら、高橋神父様か、青少年員会までお知らせ下さい。10月初めより堅信勉強会を行ないますが、遅れてでも構いませんので、未堅信の方はどうぞご連絡下さい。対象は、小学5年生程度からから大人までの未堅信者です。よろしく申し上げます。

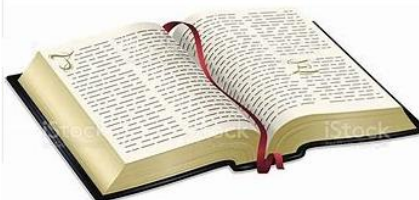
青少年委員会

主日の聖書を読む会が再開されます

シスター塩崎と共に、毎週金曜日2時から北須磨教会集会室で行います。

老若男女問わず有意義な時間を過ごしましょう。

初回は12月3日です。

待降節の準備をしましょう

ゆるしの秘跡をご希望の方は個別に高橋神父、中川神父にお申し出ください。ミサの前後などにして下さい。(場所は二階司祭の食堂)

待降節黙想案内

昨年(2020年)12月6日待降節第2主日に酒井司教様が鷺沼教会(川崎市)で、黙想会に代えて行われたお説教の動画をYouTubeでご覧下さい。

全3回の説教はそれぞれ独立しながら、3説教全体でまとまりがあり、黙想のための良い導きとなります。

- ① <https://youtu.be/XI4uzS-l9co>
- ② <https://youtu.be/B15cAXGH-WA>
- ③ <https://youtu.be/QMIR9nTs3S0>



朗読箇所は 2020年12月6日(日)

待降節第2主日

I イザヤ 40・1-5, 9-11

II ニペトロ 3・8-14

福 マルコ 1・1-8 です。

編集後記

今年もお御堂いっぱい信徒や地域の方々と集う、賛美にあふれたクリスマスミサは叶わないですが、少し平常に戻って行く日常に感謝です。来年こそは！(KYT)

マンスリースケジュール12月



2021

日・曜日			
12/1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日	待降節第2主日 ミサ10:00～	第1・6B・7地区
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日	待降節第3主日 ミサ10:00～	第3・6A地区
13	月		
14	火		社会活動センター炊き出し 9:30～
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日	待降節第4主日 ミサ10:00～	第2・5地区
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金	主の降誕 夜半のミサ18:30～ ※	※アンケートを元に参加者を割り振り
25	土	主の降誕 日中のミサ10:00～ ※	
26	日	聖家族 ミサ10:00～	第1・4地区
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		
1/1	土	神の母マリア ミサ10:00～	※ご自由に参加いただけます

注) 大阪教区からの新しい通達があるまでは、上記ローテーションでのミサ参加となります。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>



葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。